

「サステナブルな地下駅」を目指す田園都市線地下区間5駅リニューアルプロジェクト
「Green UNDER GROUND」第2弾 桜新町駅リニューアルが5月15日に着工

東急株式会社
東急電鉄株式会社

東急株式会社と東急電鉄株式会社(以下、両社)は、脱炭素・循環型社会の貢献および地域に開かれた「サステナブルな地下駅」を目指し、田園都市線地下区間5駅(池尻大橋駅・三軒茶屋駅・駒沢大学駅・桜新町駅・用賀駅)のリニューアルプロジェクト「Green UNDER GROUND」を実施し、第1弾として2021年7月より駒沢大学駅リニューアル工事を進めています。

今般、第2弾として桜新町駅リニューアル工事(以下、本リニューアル)が2023年5月15日に着工、2026年夏の竣工を予定しています。

本リニューアルのコンセプトは「WITH THE CHERRYBLOSSOMS」とし、ステーションカラーである桜色の既存タイルを最大限生かしながら、桜新町駅周辺の風景や人々の暮らしに寄り添うような空間デザインとしています。

地下2階、地下3階のホーム階では、桜並木を想起するアーチ状の壁面を新設し、木材のカウンターやベンチを設置することで、桜の木の下に人が佇むようなほっとする居場所を創出します。

設備改修では空調機を大幅に増強・新設し、駅構内の暑さ改善によるお客さまの快適性向上を図りながら、第1弾の駒沢大学駅リニューアルに続き、CBM^{※1}による空調設備などの効率的な運用を行うなど、脱炭素・循環型社会に向けた取り組みを実施します。

さらに、駅構内ではお客さまの利便性向上と、街の魅力を活かした駅機能や商業、生活サービスなどの導入により、地域に開かれた新たな駅のあり方の実現を目指します。

両社は今後も、脱炭素・循環型社会の推進および街の特色が感じられる駅空間の実現に取り組み、東急線沿線地域とのつながりをつくり、人々が行き交う豊かで活気のある街づくりに貢献します。

詳細は、別紙の通りです。

※1 CBM(Condition Based Maintenance)・・・設備を常時監視し、故障の兆候が見られた時点で修理・更新する仕組み



▲ 桜新町駅リニューアルイメージ(左:コンコース、右:ホーム)

【別紙】

■田園都市線地下区間5駅リニューアルについて

1. 田園都市線地下区間5駅概要

駒沢大学駅を含む田園都市線地下区間の5駅(池尻大橋駅・三軒茶屋駅・駒沢大学駅・桜新町駅・用賀駅)は、当社初の地下鉄である「新玉川線」として1977年に開業しました。新玉川線は、ステンレス車両や、各駅で異なるステーションカラーの導入、駅冷房等を考慮した駅づくりなど、当時としては先進的な地下鉄でした。



▲新玉川線開通式(1977年)



▲ステーションカラーの導入



▲田園都市線地下区間5駅リニューアル対象駅

2. 田園都市線地下区間5駅リニューアルコンセプト「Green UNDER GROUND」

田園都市線の路線カラーでもある「Green」には、「快適・安心」、「スムーズ」、「クリーン・サステナブル」、「親しみが生まれる」、「新しさがある」など、さまざまな想いが込められています。開業後40年以上が経過した田園都市線の地下区間5駅を、今まで以上に心地良く、ワクワクする体験のできる空間に生まれ変わらせます。



▲「Green UNDER GROUND」ロゴ

取り組みの詳細は、オフィシャルサイトにてお知らせします。

「Green UNDER GROUND」オフィシャルサイト: <https://ii.tokyu.co.jp/grows/gug>

3. 東急電鉄株式会社 中期事業戦略～3つの変革・4つの価値～

「Green UNDER GROUND」は新・中期事業戦略に掲げる3つの変革・4つの価値の実現を目指します。

2021年度

2023年度

2026年度～

Green UNDER GROUND

第1弾 駒沢大学駅リニューアル 着手

新・中期事業戦略

3つの変革

- ① 運行・駅サービス体系の変革
- ② テクノロジーを活用したオペレーション変革
- ③ 旧来からの慣習にとらわれない社内諸制度の変革

4つの価値

- ① 安全・安心・環境の更なる追求
- ② ユニバーサルなサービスの進化
- ③ 都市交通における快適性の向上と課題の解決
- ④ 人、街、暮らしをつなげるプラットフォーム

ESG経営・DXの推進

●東急 長期経営構想

●第1弾 駒沢大学駅リニューアル工事 竣工

●第2弾 桜新町駅リニューアル工事 着工

■桜新町駅リニューアル工事 計画概要

- 事業主体 東急電鉄株式会社、東急株式会社
- 建物名称 田園都市線桜新町駅
- 所在地 東京都世田谷区桜新町2-8 ほか
- 工事内容 駅設備・内外装の改修 など
- 設計・デザイン 東急電鉄一級建築士事務所・株式会社東急設計コンサルタント・トラフ建築設計事務所
- 着工 2023年5月15日(月)
- 竣工 2026年夏(予定)

○リニューアルコンセプト「WITH THE CHERRYBLOSSOMS」

たくさんの花びらが集まって一本の咲き誇る桜の木になるように、

いくつもの暮らしが重なり合っ一つの街が生まれ、さまざまな要素が集まって一つの駅となる。

桜の木とともに、駅は街とつながり、暮らしとつながる。

ステーションカラーである桜色の既存タイルを生かしながら、桜新町駅周辺の風景や人々の暮らしに寄り添うような空間を目指します。

○脱炭素・循環型社会の実現に向けた施策

1. 既存仕上げ材を活かしたデザイン

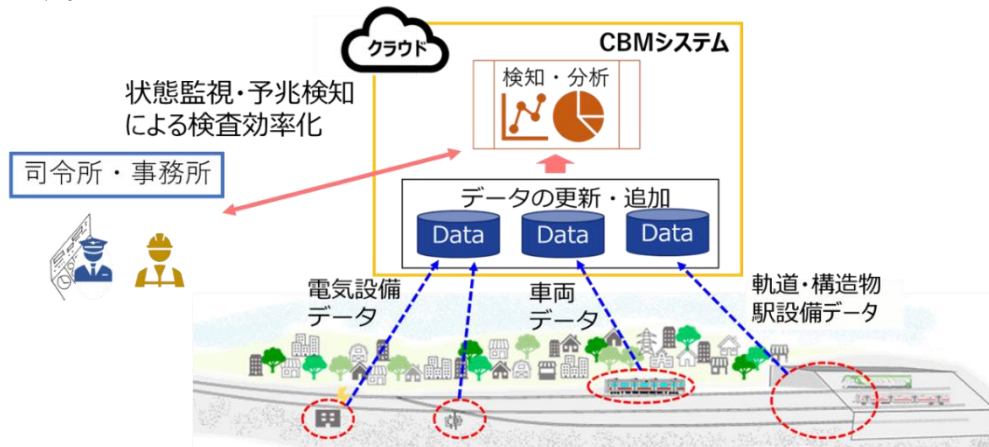
壁面のタイルや床材など、既存材を最大限活かしたデザインとすることで廃棄物を削減します。

2. 内装材への木材活用

新設するベンチ・カウンターなどに木材を活用し、CO₂固定化等環境負荷を低減します。

3. CBMの推進

センシング技術などを活用し、保守業務の改善や運転効率化を行う体制づくりによってCO₂排出量の削減を実現します。



▲ CBM概念図

【参考】

1. 駒沢大学駅リニューアル工事 計画概要

○事業主体 東急電鉄株式会社、東急株式会社

○建物名称 田園都市線駒沢大学駅・
(仮称)駒沢大学駅東口ビル・
(仮称)駒沢大学駅西口ビル(1)・
(仮称)駒沢大学駅西口ビル(2)

○所在地 東京都世田谷区上馬4-3 ほか

○工事内容 駅設備・内外装・旅客トイレの改修、
エレベーター、店舗新設 など

○設計・デザイン 東急電鉄一級建築士事務所
株式会社交建設計・UDS株式会社・坂田涼太郎構造設計事務所

○コミショニング NPO法人 建築設備コミショニング協会

○着 工 2021年7月30日(金)

○竣 工 2024年夏(予定)



▲駒沢大学駅リニューアルイメージ(コンコース)

2. 田園都市線地下区間5駅リニューアル コンセプトプランナー

「スターパイロット 三浦丈典」(<http://starpilots.jp/>) 「ONE INC. 富田光浩」(<http://www.one-inc.info/>)

3. 田園都市線地下区間5駅リニューアル UXデザイン

「日建設計」(<https://www.nikken.jp/ja/>)

4. 桜新町駅リニューアル工事 コンセプトプランナー

「UDS株式会社」(<https://uds-net.co.jp/>)

事業性と社会性を実現するしくみ＝「システム」で都市を豊かにすることを
目指し、国内外でまちづくりにつながる場の企画、設計、施設運営を手がけて
います。



▲ Tote 駒沢公園

5. 桜新町駅リニューアル工事 設計者

「東急設計コンサルタント」(<https://www.tokyu-sekkei.co.jp/>)

創立50周年を迎え、培った「まちづくりのDNA」と都市開発・
建築・土木の専門技術で、お客様の事業をトータルでサポートする
「総合設計コンサルタント」です。



▲ 東急池上線池上駅・駅ビル

「トラフ建築設計事務所」(<http://www.torafu.com/>)

鈴野浩一氏と禿真哉氏により2004年に設立。建築の設計をはじめ、ショッ
プのインテリアデザイン、展示会の会場構成、プロダクトデザイン空間インス
タレーションやムービー制作への参加など多岐に渡り、建築的な思想をベー
スに取り組んでいます。



▲鈴野 浩一氏

▲禿 真哉氏

■いい街 いい電車 プロジェクトとは・・・

「いい街 いい電車 プロジェクト」とは、選ばれる沿線日本一に向け、沿線のみならず近くで良い関係
「近イイ関係」を目指すプロジェクトです。駅がもっと身近になる活動を通して、愛着のある「いい街」と、
いつでもどこでも安全に移動できる、安心・快適な「いい電車」の実現に向け、積極的に活動します。

